

<卓話：松戸市社会福祉協議会：事務局長補佐 木下裕支様>
 ささえあいプラン「松戸市地域福祉活動計画(第4時)」の説明



松戸市社会福祉協議会では、今年の1月に、平成25年度から平成29年度までの5か年計画として、ささえあいプラン「松戸市地域福祉活動計画(第4時)」を策定いたしました。この計画は、誰もが住みなれた地域で安心していきいきと暮らしていくために、地域住民自身が地域の福祉の担い手として住みよいまちづくりを行うための、地域福祉を推進する計画でございます。計画の策定にあたりましては、39名の策定委員を中心として、住民記懇談会やアンケート調査等を行い、『地域住民がどのようなまちをつくりたいのか』『どのようなまちであれば安心して住み続けられるのか』という視点を大切に、多くの市民の皆様の声を取り入れました。

この第4次計画の基本理念は、松戸市で策定しております「第2次松戸市地域福祉計画」との連動によりまして「みんなで築く福祉のまち」という共通のものとししました。「私たちのめざすまち」という4つの柱を中心に「私たちの目標」を定め「私たちの取り組み」という具体的な行動計画を27項目設定いたしました。

市内には15の地区社会福祉協議会がございまして、それぞれ地域の特色を活かした福祉活動を展開しておりますが、ささえあいプランの中にも、この15地区社会福祉協議会の活動計画を掲載しております。

第4次計画の進行管理と評価につきましては「松戸市地域社会福祉活動計画推進委員会」を設置して行います。推進委員会では、第4次計画にに基づき年次計画を策定し、年度ごとの進行管理と評価を行い、事業の改善のための見直しを行ってまいります。

簡単ではございますが、ささえあいプランの説明を終わらせて頂きます。ご静聴ありがとうございました。

<入会式：児山守治会長>

4月8日付きで入会をさせて頂きました、大塚精一と申します。昭和28年8月6日生まれの獅子座で現在60歳です。



3月31日まで松戸市役所に勤務していました。

職業は旅館業となっておりますが、ホテルは所有するだけで、経営は身内がやっていて、徐々に勉強していこうかと思っています。

消防団に所属しており活動は39年目になります。

未熟者でロータリークラブの皆様方には、ご迷惑をお掛けする事が多々あるかと思いますが、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます



国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2007回 例会 2014年4月8日(火)

- 国際ロータリー会長 ロンD. パートン ■例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー 関口 徳雄 ■例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」
- 第12分区ガバナー補佐 渡辺 敏弘 ■事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- 松戸北ロータリークラブ会長 児山 守治 ■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 平田 洋一 ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<第2007回：例会プログラム>

12:30	点鐘 ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】	児山守治会長
12:33	お客様紹介	崎谷延好会長 <small>エク</small>
12:35	会食	
12:55	例会再開 会長挨拶・報告 幹事報告	児山守治会長 平田洋一幹事
13:00	新入会員入会式	大塚精一様
13:10	卓話 「地域社会における社会福祉協議会の役割」 松戸市社会福祉協議会 事務局長 中嶋弘行様 事務局長補佐 木下裕支様	
13:25	【委員会報告】 ■社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表 ■ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	高崎卓哉委員長 小林弘委員長
13:30	点鐘	児山守治会長



<会長挨拶：児山守治会長>

皆さん こんにちは。
桜前線も北に移りつつあり 松戸周辺では桜吹雪が舞って葉桜となりつつあります。
今年も新年度を迎えました。入社式や入学式などが話題になっています。
我が家の近くにも小学校があります。昨日が入学式でした。希望に胸を膨らませている姿にすがすがしさを感じます。本日は当クラブでも大塚精一さんの入会式があります。仲間が増えることに喜びを感じます。
それと卓話がございます。どうぞ楽しみにしていただきたいと思います。
本日は時間がありませんのでこれにて挨拶とさせていただきます。



<ニコニコ委員会：寺川忠男委員>



■家田真人会員：
3年間ありがとうございました。
この3年間で得られた経験を今後の人生に大いに活かしていきたいと思ひます。



■米山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA) ■

1920年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。



WEEKLY REPORT

<卓話：松戸市社会福祉協議会：事務局長 中嶋弘行様>

「地域社会における社会福祉協議会の役割」

松戸市社会福祉協議会事務局長の中嶋と申します。こちらは、事務局長補佐の木下と申します。

本日は、松戸北ロータリークラブの例会にお呼び頂き、このような機会を設けていただきありがとうございます。また、日頃より、松戸市社会福祉協議会の会費、賛助会費にご協力頂き誠にありがとうございます。重ねて後見御礼申し上げます。

私のほうから、松戸市社会福祉協議会の事業について、木下事務局長補佐から、松戸市社会福祉協議会が策定している「地域福祉活動計画(第4次)」についてご説明いたします。

社会福祉協議会というのは、社会福祉法に位置づけされた、社会福祉法人、民間の団体です。地域地域福祉の推進を目的とし、以下の事業

- (1) 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、
- (2) 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助、
- (3) 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成を行います。

社会福祉協議会には、全国社会福祉協議会、都道府県に都道府県社会福祉協議会、各市町村に市町村社会福祉協議会がございます。

まず、「松戸市社協あんない」をご覧ください。開いていただくと松戸市社会福祉協議会の主な仕事がかかれていています。

松戸市社会福祉協議会は4つの部署があり、地域福祉推進センター、たすけあいセンター、相談センター、管理センターとなっております。

1 地域福祉センター

松戸市では、市内を15地区に分けて地域社会福祉協議会を設け、それぞれ独自に地域福祉活動を行っております。高齢者向けのふれあいきいきサロン、ふれあい会食会、子育て世代には子育てサロン、三世代がふれあう場としてふれあい広場等の活動を行っております。

2 たすけあいセンター

ふれあいサービスセンター事業。在宅福祉サービスを必要とする方に、福祉活動に理解と情熱を持つ方を派遣し、たすけあいの精神をもとに有償の在宅サービスの提供を行っております。

3 相談センター

日常生活自立支援事業(後見支援センター)は、判断能力が十分でないため、適切なサービスの提供を受けられない方に対して日常的な福祉サービスの利用援助や金銭管理等を行います。

また、場合によっては、成年後見制度への利用を勧めます。

相談事業定期的に福祉相談所を開設し、必要な女助言と援助を行います。

生活福祉資金貸付事業-比較的所得の少ない世帯、障害者世帯、高齢者世帯または、失業者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行い、その経済的自立や生活意欲の助長促進等を目的とする貸付制度です。教育資金も本制度を利用する方が多く、高校、大学等へ進学したいが、金銭的な理由で進学を断念せざるを得ない。このようなことがないように貸付を行うものです。貧困による負の連鎖にならないようにと思ひます。

4 管理センター

役員会の開催、経理、労務管理等を行っております。

また、収益事業として売店の運営(松戸市立病院、東松戸病院、北山会館売店)市内の公共施設に自動販売機を設置し、その収益を福祉活動に充てております。

(次ページへ)

■奉仕の理想 (Ideal of Service) ■

己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生かし続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリーの奉仕哲学である。

